

2010年度 第2回自然科学系アーカイブズ会合

日時： 平成23年2月2日（水）午前10時15分～午後4時30分

場所： 核融合科学研究所

午前： @管理棟4F第2会議室

午後： @核融合アーカイブ室（総合工学実験棟）

<午前の部> 講演

10:15 はじめに/ガイダンス

10:20 副所長挨拶

10:30 西山伸氏講演「公文書管理法への対応について
-京都大学大学文書館の事例を中心に-

11:30 質疑応答及び討論

<午後の部> 話題提供と討論

13:30 - 15:00

(1) 研究機関アーカイブズの公文書管理法への対応（法人文書の扱いを含む）

- ・ 国立天文台アーカイブ室の紹介 渡部 潤一（20分）（国立天文台）
- ・ 坂田記念史料室の紹介 吉川 直志（10分）（名古屋大学）
- ・ KEK 史料室における規則整備 関本美知子（20分）（KEK）

15:15 - 16:30

(2) 自然科学系アーカイブズのネットワーク構築（横断検索を含む）

- ・ アーカイブズネットワークの段階的拡張
井口 春和（10分）（NIFS）
- ・ EADに基づく横断検索システム 高岩 義信（20分）（筑波技術大）

会合趣旨：

平成23年4月より公文書管理法が施行になり、大学共同利用機関法人もこの法律に基づく文書管理が必要になります。各法人にとっては、法人文書管理体制を明確にするとともに、歴史的に残すべき法人文書（歴史公文書）の扱いを決めなければなりません。このような状況にあって、既設のアーカイブ室あるいは資料室を、各機関の文書管理体制の中でどのように位置づけていくべきか、判断を迫られています。

そこで、公文書管理法への対応を進めつつある京都大学大学文書館の事例を参考にしつつ、これに比べてはるかに小規模の研究機関アーカイブズの課題について議論します。一方、自然科学系アーカイブズのネットワークを構築し、横断検索まで可能にすることによって、あたかも一つの文書館を構成することは、利用者の利便性を向上させるだけでなく、公文書管理法の精神を具体化する方策としても有効と思われます。

アーカイブ室あるいは資料室の今後のビジョンについて議論したいと思います。